

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
棚尾地区

平成31年3月

愛知県碧南市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	安全・安心なまちの都市施設の充実度	ポイント	61	80	72	確定 見込み ●	△	あり ● なし	80.1	H31年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「碧南レールパーク」や名鉄跡地横断道路及び広場の整備が完了し、災害時の避難経路やオープンスペースが確保され、住民の安全・安心に対する満足度が向上している。
指標2	身近に水と緑が感じられる環境の充実度	ポイント	51	67	67	確定 見込み ●	○	あり ● なし	67.2	H31年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	「碧南レールパーク」や堀川沿線道路の整備が進み、水と緑にふれあえる場所が増え、住民の自然の豊かさに対する満足度が向上している。
指標3	地区固有の歴史・文化と自然の資源を活かしたまちづくり活動の充実度	ポイント	57	77	81	確定 見込み ●	○	あり ● なし	80.8	H31年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	毘沙門通りや碧南駅と毘沙門天を結ぶ道路整備が進み、歴史・文化的資源を身近に感じられ、住民の地区固有の歴史・文化的資源の豊かさに対する満足度が向上している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	公園や広場、道路などの適正管理に向けた住民との 協働	地域住民による公園や広場、道路などの愛護活動や美化活動を 促進し、快適な環境を維持するとともに、住民が愛着を持てるま ちづくりを進めるため、地域住民によるまち美化活動などを支援 した。	レールパーク等の愛護活動への参加者 が増え、協働の精神が培われている。	今後も、住民が愛着を持てるよう、住民による愛護活動を促進す る必要がある。
	住民参加型イベントの継続的な開催	現在行われている地区の歴史・文化にふれるイベントや防災に 係わる活動を継続的に行うことにより、住民同士の交流の活発 化を図るとともに、住民自らによる地域の安全・安心に向けた取 組みを促進するため、住民参加型のイベントを支援した。	レールパークを活用し、イベントへの参加 者が増えた。	引続き防災意識の向上や住民同士の交流の活発化を図るため、 地域の安全・安心につながる活動の取組みを促進する必要がある。 。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善 策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	狭隘道路の解消	地区内に残る狭隘道路の解消を目指し、避難経路や緊急車両 の通行経路の確保を図り、安全・安心な居住環境の創出を図る ため、狭あい道路整備促進事業、道路等基盤整備事業を継続実 施した。	平成29年度は1件、平成30年度は2件 の狭隘道路における後退用地を取得し た。	引続き建築基準法第42条の規定による道路後退と連携した後退 用地の取得を推進し、安心・安全なまちづくりに努める必要があ る。
	空き家の適正な管理	今後、増加が予想される空き家、空き地について、現状調査を行 うとともに、適正な維持管理を促進した。	当該地区において、空家の除却が進んで いる。	今後、増える空き家についても適正な維持管理及び除却が進むよう 啓発していくことが重要である。
	名鉄跡地(未利用地)の活用	未利用地となっている名鉄跡地について、活用方法などを検討し た。	駅から「碧南レールパーク」までの名鉄跡 地について、アクセスしやすいよう、公園 を整備することとなった。	地域と協働し維持管理を行っていくことが重要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
狭隘道路の改善や公共空地の確保など、地区の有する課題を解 決し地区の安全性、防災性のさらなる向上を図るため、地区計画 制度等を活用した安心安全なまちづくりの推進	地区計画制度等を活用したまちづくりの啓発および調査の実施。	平成31年度～	住民との協働により進める必要があり、また、地区計画制度におい ては、地区住民の100パーセント合意が必要となり、計画決定および事業 実施には相当年月を要することが想定される。

都市再生整備計画(精算報告)

たな お ち く
棚尾地区

あ い ち へ き な ん
愛知県 碧南市

- ・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。
- ・清算報告として、各交付対象事業の確定額等を入力すること。(最終変更版ではない。)

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	碧南市	地区名	棚尾地区	面積	195 ha
-------	-----	------	-----	-----	------	----	--------

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- 大目標 子どもからお年寄りまで、みんなが安心して生き生きと暮らせるまちづくり
- 目標①: 安全で安心して生活できる市街地の形成
- 目標②: 鉄道跡地や堀川などの水辺を活かした豊かな環境の創出
- 目標③: 歴史・文化と自然を活かした地域の活性化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- かつて酒造業や鉄工業の発展とともに活気に満ちたまちであったが、現状では人口が減少傾向にあり、少子高齢化が進展し、また、毘沙門通りを中心とする商店街の活気が失われつつあることなど、地域の活力が低下している。
- 旧市街地は、車が通れないほどの狭隘な道路が多く、日常生活が不便であり、また、建築時期の古い木造家屋が多く残り、地震災害に対して脆弱な市街地構造となっている。
- 毘沙門天(妙福寺)をはじめ、往時の面影を偲ばせるまちなみや路地の風景など歴史・文化資源が随所に残されている。
- 旧市街地を取り囲み運行されていた名鉄三河線の碧南駅～吉良吉田駅間が平成16年3月31日をもって廃線となった。その鉄道跡地は、地域の貴重な財産であり、新たな交流の場、憩いの場又は活動の場として活用するとともに、これらで鉄道により分断されていたコミュニティの再構築、災害時における緊急車両の通行、防災活動の拠点としての整備が求められており、その具現化に向けて、平成21年3月に「名鉄廃線跡地利用基本構想」を策定するなどの取組を進めている。
- 当地区では、地区住民で組織する「棚尾地区まちづくり推進委員会」が中心となり、まちづくりの方向性やコンセプト、導入プロジェクト等について、平成20年度から検討が進められてきた。その成果として、平成23年3月に「棚尾地区まちづくり基本構想」をとりまとめている。この間には、防災ウォークラリーや火の見やぐらを電灯で飾るイルミネーションなど、地域イベントも開催した。

課題

- 人口減少、少子高齢化の進展や、地域活力の低下が当地区の主要な課題となっており、その改善に向けて、以下のような具体的な取組が求められている。
- 旧市街地における狭隘道路の解消や骨格となる幹線道路、主要な区画道路の整備、公園、広場等のオープンスペースの確保など、安全、安心な生活を支える基盤となる都市施設の整備とともに、自主防災力の強化や、建物倒壊や火災延焼を拡大させる恐れのある空き家の撤去など、総合的な防災対策が必要である。
- 鉄道跡地や堀川などの地域資源を活用し、自然豊かな環境や地域コミュニティを育成する場の形成が求められている。
- 地区内外の人たちの交流の促進に向けて、毘沙門天を始めとする寺社や毘沙門通り、路地の景観など、地区固有の歴史・文化と自然の資源を活用したまちづくりが求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 第5次碧南市総合計画・・・“結びあうまちへ”“育むまちへ”“活かすまちへ”“創造を楽しむまちへ”“安心・安全なまちへ”などを基本理念として『ひとのわで 楽しさつくる みなとまち へきなん』の実現を目指す。
- 碧南市都市計画マスタープラン【大浜北部・棚尾地域のまちづくり構想】・・・『碧南駅を中心とした住環境の形成と文化・歴史を活かした地域の魅力の充実』をテーマに、棚尾地区では狭隘道路の改善や主要な区画道路の整備、遊休地を活用した公園・緑地の確保等の密集市街地改善のほか、鉄道跡地と矢作川、蜷川及び堀川を活用した水と緑のネットワークの形成を推進する。
- 棚尾地区まちづくり基本構想・・・『子どもからお年寄りまで、みんなが安心して生き生きと暮らせるまち』をめざし、“生活の土台づくり”として災害に強く、多世代が安心・安全・快適に暮らせるまちづくりを、“まちの彩りづくり”として豊かな環境づくりと棚尾を訪れたい魅力づくりを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
安全・安心なまちの都市施設の充実度	ポイント	道路、公園などの都市施設の充実や安全・安心なまちに対する満足度など、整備効果に対する総合的な評価	道路、公園などの都市施設整備によるまちの安全性や地区住民の安全・安心なまちに対する満足度などの『安全・安心なまちの充実度』を高めることにより、安全で安心して生活できる市街地を形成する。	61	H25	80	H29
身近に水と緑が感じられる環境の充実度	ポイント	身近に水と緑のある環境の充実や環境への満足度など、整備効果に対する総合的な評価	公園や高質空間形成施設の整備による身近に水と緑が感じられる環境や自然の豊かさに対する満足度などの『身近に水と緑が感じられる環境の充実度』を高めることにより、豊かな環境を創出する。	51	H25	67	H29
地区固有の歴史・文化と自然の資源を活かしたまちづくり活動の充実度	ポイント	公共施設の維持管理、イベントなどのまちづくり活動への参加や歴史、文化資源の豊かさへの満足度など、整備効果に対する総合的な評価	地域生活基盤施設や高質空間形成施設の整備による歴史・文化資源の豊かさに対する満足度及びこれらの公共施設の維持管理やイベントへの参加などの『地区固有の歴史・文化と自然の資源を活かしたまちづくり活動の充実度』を高めることにより、地域の活性を高める。	57	H24	77	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○安全で安心して生活できる市街地の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市街地において、狹隘道路の解消を進めるとともに、歩行者交通の安全性の向上と自動車交通の円滑化のため、地区内幹線道路や鉄道跡地を横断する道路や毘沙門通りの歩行空間の整備を進める。 ・災害時の被害を抑えるため、鉄道跡地の整備に緊急車両用通路としての機能を確保するとともに、耐震性の貯水槽や配水管の設置を進める。また、道路幅員のほか、空き家の撤去、ブロック塀の生け垣化等を促進する。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路：市道堀川緑地ポンプ場線 ・道路：市道塩浜12号線 ・道路：市道若宮14号線 ・道路：市道雨池1号線 ・道路：市道若宮川端1号線 ・道路：市道玉津浦駅前線他1路線 ・道路：市道寿線 ・市道平七志貴崎歩1号線 ・市道観川志貴崎橋線 ・市道平七鷲塚線 ・公園：1号公園 ・公園：2号公園 ・公園：3号公園 ・公園：4号公園 ・地域生活基盤施設（広場）：1号広場 ・地域生活基盤施設（広場）：2号広場 ・高質空間形成施設：主要地方道岡崎碧南線 <p>○関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家撤去促進事業 ・幹線配水管震災対策事業 ・耐震性貯水槽整備事業 ・ブロック塀生け垣化促進事業 ・（仮）棚尾地区南北軸道路整備検討事業 ・後退用地取得事業
<p>○鉄道跡地や堀川などの水辺を活かした豊かな環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道跡地や堀川などの水辺を活用し、旧市街地を取り囲むように回遊型緑地を整備することにより、地区住民の健康づくりや地区内外の交流の場等となる、水と緑豊かな環境を創出する。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園：1号公園 ・公園：2号公園 ・公園：3号公園 ・公園：4号公園 ・高質空間形成施設：市道堀川左岸線 ・高質空間形成施設：市道大正線 ・高質空間形成施設：市道寿線 ・高質空間形成施設：市道春日橋境橋線 ・高質空間形成施設：主要地方道岡崎碧南線
<p>○歴史・文化と自然を活かした地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の賑わいづくりの起爆剤として、毘沙門通りや乳母道等の資源を利用し、碧南駅方面と毘沙門天を結ぶ歩行者系の骨格軸を形成するとともに、鉄道跡地等の緑地と連携することで、地区固有の多様な風景が楽しめる歩行空間を創出する。 ・地区住民の主導によるまちづくり活動を支援するとともに、棚尾の多彩な魅力を地区内外に広く周知するため、地区のマップづくりや観光資源となる歴史・文化と自然の資源などを紹介する案内板等を適所に配置することにより、地域の活性化とコミュニティの向上を図る。 	<p>■基幹事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園：1号公園 ・公園：2号公園 ・公園：3号公園 ・公園：4号公園 ・地域生活基盤施設（広場）：1号広場 ・地域生活基盤施設（広場）：2号広場 ・地域生活基盤施設（情報板）：案内板等 ・高質空間形成施設：市道堀川左岸線 ・高質空間形成施設：市道大正線 ・高質空間形成施設：市道寿線 ・高質空間形成施設：市道春日橋境橋線 ・高質空間形成施設：市道源氏6号線他1路線 ・高質空間形成施設：主要地方道岡崎碧南線 <p>□提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動推進事業：棚尾まちづくり活動支援事業

その他

○市民活動との連携に配慮した計画策定
 地区住民で組織する「棚尾地区まちづくり推進委員会」と碧南市との協働により、平成23年3月に、都市再生整備計画の基となる「棚尾地区まちづくり基本構想」を策定した。

○継続的なまちづくり活動
 「棚尾地区まちづくり推進委員会」が中心となって、防災ウォークラリーや火の見やぐらイルミネーションなどの地域イベントを開催し、地区住民への啓発活動に取組むとともに、ふれあい囲碁プログラムの実施や丸型ポストを活用したまちおこしの検討などが進められており、今後も、都市再生整備計画事業の活用により、まちづくり活動のさらなる発展が期待できる。また、交付期間中は、地区住民との協働により事業を推進し、まちづくりの機運を高めていきたい。

